



## 井原俊二 L のメンバースピーチより

3 月度第一例会にて

井原 L は、昭和 33 年、港区芝の機械工具販売を営む、4 人兄弟の末っ子として生まれ、小さい時からデザインに非常に興味があったので、中学校時代は、美術方面の学校へ行きたいと、美術の先生にご相談された所、「まだ、君は普通の大学を卒業してからでも遅くはないよ」とのアドバイスを頂いて、中大杉並高校に進学、大学は経済学部に入學されました。

3 年生の終わり頃、銀座のデザイン事務所の社長との出会いがあり「デザインの仕事がしたいのですが、美術専門学校に通った方がよいでしょうか？」と尋ねた所、「高いお金を払うより、お金をもらって覚えた方がよいのではないですか」と言われ、中央大学の卒業証書を社長に見せて、そのまま 15 年間、その会社に勤務されました。

その後、3 つの会社でデザインの仕事に携わり、2009 年に独立して、「株式会社ブランドアド」を設立されました。会社の名前もブランディングから名付けたそうです。お仕事の内容は、企業のブランディングデザイン、機関誌等のデザイン製作、最近は、ラジオ番組やラジオの CM も手掛けているそうです。

デザインとは、こういう仕事ですというのは、とても難しいので、お仕事の紹介も兼ねて、資料を配布されて、プレゼンテーションをされました。資料は、『法律/会計事務所』にはパーソナルブランディングが必要です。というタイトルが付いていました。

2000 年 10 月に弁護士業務広告が解禁され、最近ではテレビやラジオで法律事務所の広告宣伝活動が、頻繁に行われているという事で、「水津正臣法律事務所」のブランディングデザインをご提案されました。名刺や便せん、封筒等の統一されたデザインを見て、ブランドカラー（水津事務所はブルー）がとても重要なイメージツールになるという事が、よく分かりました。

井原 L は、小さい時からデザインに興味があり、ひたすら、長きに渡ってデザイン業界一筋で今日まで来られた事は、真面目で、心の強いご性格で一らっしゃる方だと思ひながら、拝聴させて頂きました。

これから、井原 L デザインの水津会長の名刺が出来上がると思いますが、是非一枚頂戴したいものです。

井原 L、メンバースピーチ有り難うございました。

小平 康代

